



成果指標				
成果指標	設定しない。			
指標設定の考え方	議会運営に関するものが、主なものであり指標は設定しない。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目 標	0	0	0	0
実 績	0	0	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	議会改革の重要項目で議会活性化の集大成である議会基本条例の制定や議員定数の見直しについて、議会の責務、議員の責務に基づき、議会運営の基本的事柄について、今後具体的に議論を深めていく必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	議会だよりについては、議員自らが積極的に編集に携わり、創意工夫によって市民に分かりやすい紙面づくりができています。議会報告会については、市内6地区中5地区で実施したが、次回は全ての地区で実施するとともに、より多くの市民の参加が得られるよう実施方法や内容について十分検討する必要があります。その他、議会基本条例の制定や議員定数の見直しなど、任期残り2年弱となった中で議会改革を積極的に推し進め、市民に開かれた議会の実現を目指したい。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題